

平成27年度会議の進め方と協議テーマについて

平成27年5月
広島県
経営企画チーム

I これまでの主な取組

2010(H22)年 ~仕込みと基盤づくり

- ✓ 広島県経済財政会議の設置
- ✓ ひろしま未来チャレンジビジョンの策定
- ✓ H23県政運営の基本方針の策定
- ✓ 中期財政健全化計画(H23~27), 行政経営刷新計画(H23~27)の策定

2011(H23)年 ~《人づくり》と《経済成長》への重点化

- ✓ 人材マネジメントの実施(目標管理とそれに連動した評価制度の導入)
- ✓ PDCAの仕組みの構築
- ✓ 県政運営の基本方針2012の策定

2012(H24)年 ~4つの政策分野の好循環

- ✓ 執行モニタリングの本格運用
- ✓ 県政運営の基本方針2013の策定

2013(H25)年 ~イノベーション創出に向けた4つの視点

- ✓ 経営資源マネジメントの実施
- ✓ 県政運営の基本方針2014の策定

2014(H26)年 ~イノベーションが生まれる最適環境の創出

- ✓ ひろしま未来チャレンジビジョンの見直しに着手
- ✓ 県政運営の基本方針2015の策定

□「県政運営の基本方針2015」のポイント

災害に強いまちづくり

～被災者の生活再建と災害に強いまちづくりに全力で取り組む

- 被災された方々の生活再建と早期災害復旧
- ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策
- 減災に向けた県民総ぐるみ運動の展開

地方創生

～「行ってみたい広島」から「住んでみたい広島」へ
ーイノベーションとファミリー・フレンドリーで東京一極集中を逆転ー

- 新たな経済成長 ～イノベーションの促進
 - 新たな投資誘致戦略
 - イノベーション・エコシステムの共通基盤の強化
 - 産業競争力の強化
 - 世界と直結するビジネス支援
 - 観光地ひろしま・瀬戸内海の道構想の推進
 - 担い手が生活設計を描ける農林水産業の確立
- 安心な暮らしづくり ～安心な生活の実現
 - 信頼される医療・介護提供体制の構築
 - がん対策日本一に向けた取組の強化

- 人づくり ～少子化対策, 人材育成・集積, ファミリー・フレンドリー
 - 少子化対策
 - 女性の働きやすさ日本一への挑戦
 - 若者の定着・就業の徹底支援
 - 社会で活躍する人材の育成
- 豊かな地域づくり～魅力ある地域環境の創出
 - 中山間地域の地域力強化
 - 多様な人材が集まる魅力ある地域環境の創出
 - 「ひろしま」ブランド価値向上の推進
 - 東京圏から広島への定住促進

広島和使命

ー被爆、終戦から70年となる節目の年ー

- 国際平和拠点ひろしまの形成

施策の実行を支える基盤

■ 予算編成方針

- ✓ 重点施策への集中
- ✓ 財政健全化
- ✓ 経営資源の最適配分

■ 行政経営方針

- ✓ 成果を志向する組織体制の整備
- ✓ 業務プロセス改革の推進
- ✓ 組織の力を引き出す人材マネジメント

Ⅱ 今年度の経済財政会議の進め方

- 今年度は、「ひろしま未来チャレンジビジョン」の改定や地方創生に係る「総合戦略」の策定について議論するとともに、これらの計画や、来年度の「県政運営の基本方針」策定の参考とするため、昨年度に引き続き、特に注力すべき施策について、テーマを絞って集中的に議論を行う。
 - 担当委員、(テーマに対応した専門家)、知事、副知事、関係局職員等が参加。委員から知事へ提案を行っていただいた後、フリーディスカッション
 - 必要に応じて、事前にテーマに関係する局と担当委員との意見交換等を行う。

- また、それらの施策の実行を支える基盤である「行政経営刷新計画」や「中期財政健全化計画」の次期計画の策定についても、併せて議論する。

Ⅲ テーマの内容と担当委員

① 広島らしい新たなライフスタイルの確立と多様な人材の集積，定着の促進 ～ 神原委員・三浦委員・吉田委員 ～

地域・環境・健康・商工・土木

■ 目指す姿

男女を問わず，仕事と家庭から余暇活動まで充実できる「広島らしい新たなライフスタイル」が確立，広く認知され，多様な人材の集積・定着，交流の促進が図られている。

■ 現状

- ・長時間労働を前提とする雇用労働環境にあり，家庭生活や余暇活動等に時間を割けていない。
- ・本県住まいの魅力をもっとアピールできておらず，交流人口は増えたが，人材の集積，定着までには至っていない。

■ 今年度の取組等

- ・仕事と子育ての両立など，女性が活躍できる環境整備を進め，「ファミリー・フレンドリー」な広島県の実現に向けた取組を推進
- ・広島都市圏において，広島市と共同で都市の付加価値を向上させる取組を推進
- ・「都市と自然の近接性」という地域特性のPRによる首都圏等からの移住・定住の促進

(課題)

- ・男女を問わず，仕事と家庭，余暇活動まで充実できる柔軟な働き方の実現
- ・本県の地域特性の活用や都市圏の付加価値向上等による魅力溢れる地域環境づくり
- ・「広島らしい新たなライフスタイル」の国内外へのPRを通じた多様な人材の集積，首都圏等からの移住・定住，交流の促進

■ 論 点

- 長時間労働を前提とした働き方の改革
- 本県の地域特性の活用や都市圏の付加価値向上による魅力的な地域環境づくり
- 「広島らしい新たなライフスタイル」の発信による多様な人材の集積・定着，交流の促進

② グローバルマインドの育成と留学生の受入・定着の促進 ～宇野委員～

地域・環境・教育

■ 目指す姿

今後、更なるグローバル化が進展する中、県内のどこに住んでいても、グローバルマインドを涵養することのできる環境を創出するとともに、留学生と地域のつながりを通じて、留学生の受入、定着が更に加速されている

■ 現状

- ・ グローバル社会の中で求められる、他国の文化など多様性を受容する姿勢を育むことができる環境が不足
- ・ 留学生の受入数は増加傾向にあるものの、不十分
- ・ 留学生の定着に向け、県内企業への就職支援を推進する一方、留学生の地域活動への関与が薄く、留学生と地域の交流が不十分

■ 今年度の取組等

- ・ グローバルキャンプの実施や姉妹校交流など、公立小・中・高等学校における系統的な異文化間協働活動の推進
- ・ 県内大学による留学生の受入体制の整備や支援情報の発信など、留学生数の増加に向けた取組の支援
- ・ 留学生のスキルアップや企業とのマッチングなどの県内企業への就職支援や、市町による留学生交流イベントなど、留学生の定着に向けた取組の支援

(課題)

- ・ 幼児から社会人に至るまで、日常的に異文化と触れ合える環境の不足
- ・ 留学生受入・定着促進に向けた仕組みづくり

■ 論 点

- 地域全体でグローバルマインドを涵養することのできる環境づくり
- 地域とのつながりを通じた留学生の受入・定着の促進

③ 地域における企業経営支援機能の向上 ～ 蔵田委員・藤沢委員 ～

商工

■ 目指す姿

創業・成長・成熟・衰退という企業のライフステージに応じた諸課題に対して、金融機関等の関係者とも連携した切れ目のない支援体制が構築され、県内産業全体の底上げが図られている。

■ 現状

生産年齢人口の減少やグローバル化が進む中で、金融機関と連携した創業支援や、特定の産業に対する集中的な支援等を実施しているが、様々なライフステージにある幅広い企業の課題解決に向けて取組をさらに拡大する余地がある。

■ 今年度の取組等

専門家による創業支援や専門家集団による中小企業の新事業展開支援、企業の技術力・経営力評価制度、ひろしまイノベーション推進機構による成長企業への投資とハンズオン支援、医療関連産業・環境浄化産業のクラスター形成に向けた企業活動の支援、海外ビジネスの促進に向けたビジネスマッチング支援等を実施。

(課題)

- ・金融機関等との連携による企業支援体制の拡充
- ・企業のライフステージに応じて生産性の向上や新事業展開等を支援する仕組みが不足

■ 論 点

- 地域金融機関等と自治体産業政策、地域金融機関同士の連携のあり方
- 製造業、サービス業などの生産性向上の進め方
- 創業支援や県内企業の成長支援のあり方

IV H27年度スケジュール

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合計画審議会	審議会 ■ビジョン骨子案		小委員会 ■ビジョン改定案審議		審議会 ■改定案	答申	■ビジョン改定		
経済財政会議		第1回		第2回			第3回	第4回	
総合計画関係	✓チャレンジビジョン ✓総合戦略	■骨子案		■素案					
	✓行政経営刷新計画			■成果と課題			■骨子案	■計画案	
	✓中期財政健全化計画			■成果と課題			■骨子案	■計画案	
テーマ別懇談			《 テーマ別懇談 》 ① ② ③		テーマ別に委員1～2名が出席 委員からの提案の後、 事業局を交えてディスカッション				
基本方針2016								■素案	
施策マネジメント ・ 庁内協議等						H27中間評価			→
						H26主要成果			→
		集中ミーティング				集中協議			→
									予算編成